

繰り返される米軍人による道路交通法違反事件に対する抗議決議

6月4日午後11時40分頃、嘉手納町水釜の国道58号にて、米海軍二等兵曹(21)が酒に酔った状態で車を運転し、車線を逆走したとして道路交通法違反(酒酔い運転)の疑いで現行犯逮捕された。容疑者は、北谷町内の自宅に帰る途中、逆走・正面衝突事故を起こし、日本人の男女2人に骨折などのけがを負わせた。容疑者の呼気からは、基準値の約6倍にあたるアルコールが検出されたとのことである。

女性の遺体遺棄で米軍属が逮捕された事件を受け、5月27日に在沖米四軍沖繩地域調整官が再発防止と綱紀粛正の徹底を誓い、6月24日までの約1ヶ月間、在沖米軍人・軍属に対し、基地外・自宅外での飲酒の禁止、午前0時までの帰宅を義務づける措置を講じた矢先の事件である。

極悪非道な事件に対して、日米両政府によって繰り返される「綱紀粛正」「再発防止」「教育の徹底」という言葉の空虚さと「喪に服するため」の当面の措置という位置づけに沖縄県民の怒りが収まらない中、またしても、県民を愚弄するものである。

本町議会は、在沖米軍人・軍属による度重なる事件、事故のたびに米軍当局や関係機関に対し、厳重に抗議し、綱紀粛正及び再発防止を要求してきたが、一向に改善されない現状に強い怒りをおぼえる。

日米両政府は、こうした事件が戦後70年余も幾度なく繰り返されている事態を深刻に受け止め、これ以上の沖縄県民の犠牲を断ち切るべく、実効性のある抜本的な対策を講じるべきである。

よって、本町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 被害者や家族・関係者への謝罪と完全な補償を速やかに行うこと。
- 2 犯人を厳正に処罰し、米軍人・軍属の綱紀粛正を徹底すること。
- 3 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。

以上、決議する。

平成28年6月17日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

米国大統領 米国国防長官 米国国務長官 駐日米国大使
米太平洋軍総司令官 在日米軍総司令官 在沖米四軍沖繩地域調整官
在沖米海軍艦隊活動司令官 在沖米国総領事

繰り返される米軍人による道路交通法違反事件に対する意見書

6月4日午後11時40分頃、嘉手納町水釜の国道58号にて、米海軍二等兵曹(21)が酒に酔った状態で車を運転し、車線を逆走したとして道路交通法違反(酒酔い運転)の疑いで現行犯逮捕された。容疑者は、北谷町内の自宅に帰る途中、逆走・正面衝突事故を起こし、日本人の男女2人に骨折などのけがを負わせた。容疑者の呼気からは、基準値の約6倍にあたるアルコールが検出されたとのことである。

女性の遺体遺棄で米軍属が逮捕された事件を受け、5月27日に在沖米四軍沖縄地域調整官が再発防止と綱紀粛正の徹底を誓い、6月24日までの約1ヶ月間、在沖米軍人・軍属に対し、基地外・自宅外での飲酒の禁止、午前0時までの帰宅を義務づける措置を講じた矢先の事件である。

極悪非道な事件に対して、日米両政府によって繰り返される「綱紀粛正」「再発防止」「教育の徹底」という言葉の空虚さと「喪に服するため」の当面の措置という位置づけに沖縄県民の怒りが収まらない中、またしても、県民を愚弄するものである。

本町議会は、在沖米軍人・軍属による度重なる事件、事故のたびに米軍当局や関係機関に対し、厳重に抗議し、綱紀粛正及び再発防止を要求してきたが、一向に改善されない現状に強い怒りをおぼえる。

日米両政府は、こうした事件が戦後70年余も幾度なく繰り返されている事態を深刻に受け止め、これ以上の沖縄県民の犠牲を断ち切るべく、実効性のある抜本的な対策を講じるべきである。

よって、本町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要請する。

記

- 1 被害者や家族・関係者への謝罪と完全な補償を速やかに行わせること。
- 2 犯人を厳正に処罰し、米軍人・軍属の綱紀粛正を徹底させること。
- 3 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月17日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使(沖縄担当) 沖縄防衛局長